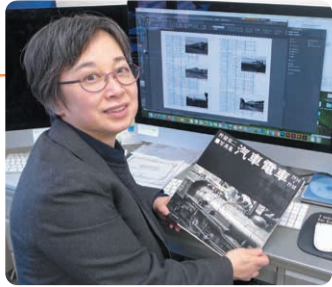




学芸員が思いのままにつづる、ミュージアムのこと、日々の仕事のこと。展示に直接携わる学芸員の言葉の中から、ミュージアムをもっと楽しむヒントを見つけてください。

CHAPTER 7 東北福祉大学・鉄道交流ステーション 学芸員 鈴木 佳子さん



机の傍らにお守り代わりに置いている写真集が1冊あります。大正・昭和期の長唄三味線方で重要無形文化財保持者でもある杵屋栄二が昭和初期に電車や汽車を撮ったものです。「三味線」と「鉄道」、あまり関係なさそうですが、これを見つけたときは小躍りしました。2007年当館オープン時、縁があり学芸員となりましたが、当時私が手がけていたのは街頭紙芝居の再発信。身銭を切って長編紙芝居や新作紙芝居公演に挑みつつ、かけがえのない人々との出会いがありました。一方、鉄道の方はゼロから、いやマイナスからの出発でした。驚にさらわれ海の沖に落とされたようで、泳ぎ方も分からないままジタバタ。小学生のレベルから鉄道のことを学びつつ、紙芝居の活動は一時停止となりました。せめて…と始めた芸事が長唄三味線。難しい楽器ですが、倍音を感じながら弾いていると気持ちが落ち着きます。鉄道の方は、たくさんの鉄道のプロや愛好家の方々にご指南をいただきつつ、いまだ頭を掻きながらの頼りない毎日ですが、この写真集を手にとると、ふと栄二師匠が「いいよ、いいよ」と励ましてくれているような気がするのです。



学芸員1人体制なので、学生は頼もしい戦力

これからのイベント 4月5日(金)～7月6日(土) 第36回企画展「西公園C60 1ものがたり」



SMMAとは 知的情報資源である仙台・宮城地域のさまざまな博物館が協働することで、地域にとってより有益な機能を獲得していくための共同事業体です。各館の学芸員や専門職員が持つ知識やノウハウを集積し、分野を横断した連携イベント、学校教育への協力や地域で活動する人材の育成支援、観光資源の開発など、単館では実現困難な新たな価値の創出を行い、地域のニーズに合った新時代のミュージアムとなることを目指します。

WEBサイト 見験楽学 仙台・宮城ミュージアム情報局

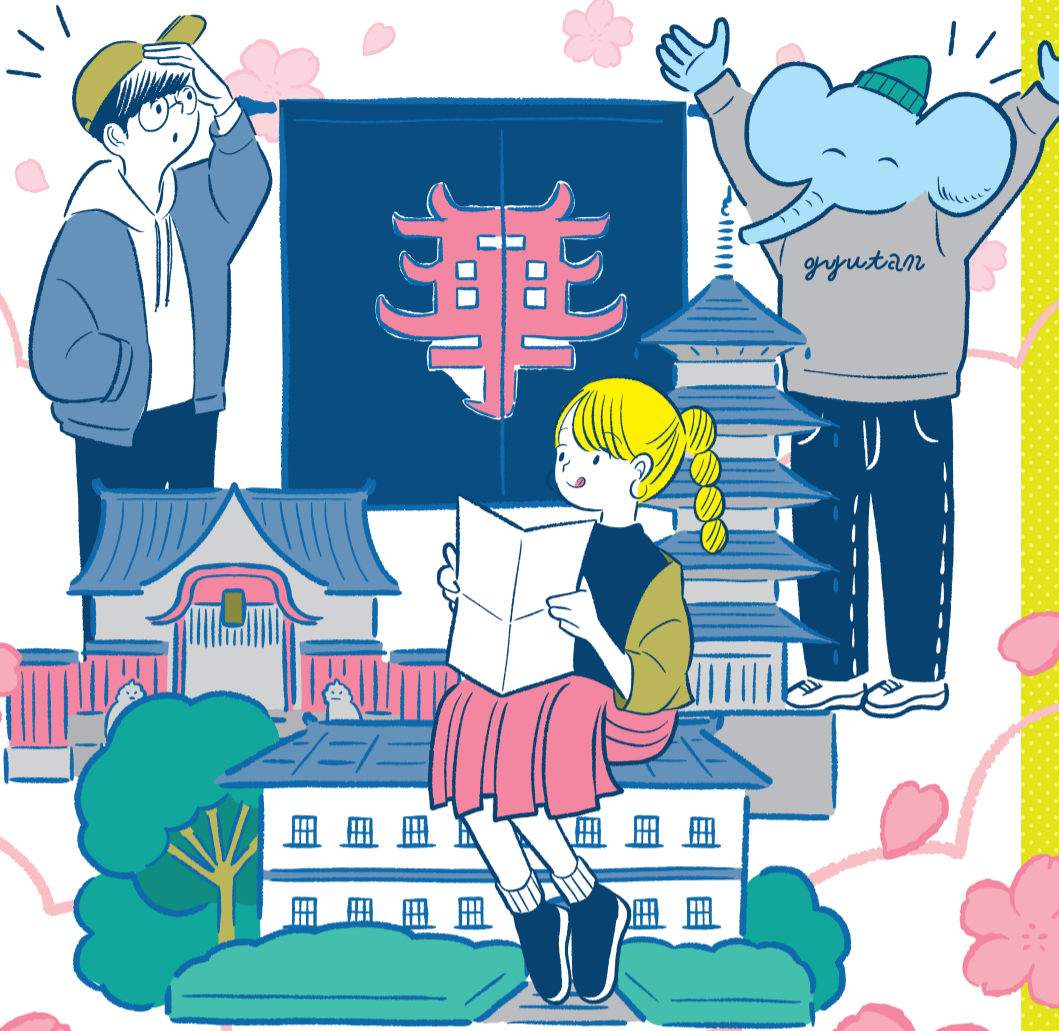
SMMA参加館の学芸員をはじめ現場スタッフによるとっておきの情報や、地域のミュージアムならではの情報をお伝えします。地元のみならず、旅行で訪れた方々にもお役に立ち、楽しみながら発見や体験をしていただけるウェブサイトです。



発行・問い合わせ先: 仙台・宮城ミュージアムアライアンス事務局 仙台市青葉区春日町2-1(せんだいメディアテーク内) 電話: 022-713-4483 ファックス: 022-713-4482 電子メール: office@smt.city.sendai.jp ウェブサイト: https://www.smma.jp 編集/小原 瞳 デザイン/ANTWORKS イラスト/よしだみさこ 発行日/2019年2月28日 掲載した記事・情報は発行日の段階のものです。この紙はリサイクルできます

# 2019 春号 見験楽学 旬の目見験楽学

てくてく 仙台駅東口・新寺～榴岡～宮城野 春のお散歩MAP



## ミュージアム de ブレイクタイム

### SPOT 東北学院大学博物館

5月25日(土)まで開催している「装い暮らし狩り遊び祭り -復元・アイヌの民具-」は、「博物館実習」履修の文学部3年生、「民俗学実習I」履修の歴史学科2年生が手がけた、大学生の手による企画展。復元したアイヌ民具の展示はじめ、祭りの記録映像の上映など、学生ならではのユニークで分かりやすい視点で展示が行われています。期間中、入館者には大学生が企画展図録として制作した館蔵品図録を無料配布。ぜひ手に取ってみてください。



〒981-8501 仙台市青葉区土樋1-3-1 022-264-6920 9:30～17:00(入館は～16:30) 休 日 曜、祝日、大学の定める休業日 入 館 料 一般200円(高校生以下無料)

### 学院大生おすすめスポット

#### びーぶる

昭和レトロな雰囲気の内装が漂う、スパゲティと喫茶の店。人気は何となく昔ながらのナポリタン。濃厚なソースが麺にたっぷり絡み、ボリュームもたっぷり。一度食べたらまた足を運びたくなる人が多く、学生をはじめ、OL、サラリーマンと幅広い世代から愛され続けています。

〒981-8501 仙台市若林区新町112 022-264-1637 11:00～21:00(L.O.20:30) 休 日 曜



#### 村上屋餅店

仙台名物「づんだ餅」はじめ大福や団子など、手づくりの味にファンが多数。薄皮まで取りのぞいて滑らかに仕上げたづんだ餡は甘さ控えめで、枝豆本来の味や香りを楽しむことができます。イートインでは餅やお汁粉などの甘味とお茶を楽しむことができますので、出来立ての味を楽しんでみては?

〒981-8501 仙台市青葉区北目町2-38 022-222-6687 9:00～18:00 休 不定休

- **てるや(五橋)** 2018年オープンのちんすこう屋。まころんのようなコロんとした形がカワイイです。
- **らぁ麺 たか樹(五橋)** もっちりとした平打ち麺に 鶏の旨味いっぱいのスープが絡んで美味!
- **miroku(五橋)** すべての商品は卵と乳不使用。身体にやさしくおいしいパンやお菓子が味わえます。
- **とんかつ かつせい(北目町)** 分厚いのにやわらかくてジューシーな老舗のとんかつ屋の味は大人気です。
- **パール カピトーロ(北目町)** 窯焼のピザがおいしいお店。ワインもリーズナブルに楽しめます。



### やまき としぶみ 八巻 寿文 (1956～)

仙台市出身。1975年にリトグラフを学びにフランスへ留学。舞台照明や画家の仕事を経て、1982年から宮城教育大学に所属。美術家として舞踏とのコラボレーションのほか、インスタレーションを各地の街頭や野外で行う。1989年から(財)仙台市市民文化事業団職員。2002年4月から「せんだい演劇工房10-BOX」(同年6月オープン)に勤務し、2005年に二代目工房長に就任。2016年4月より「せんだい3.11メモリアル交流館」館長。2001年、日本照明家協会奨励賞受賞 2006年、宮城県芸術選奨



SMMA参加館ゆかりの人物にせまります。人を知って、收藏品をもっと身近に、もっと楽しく。

### 人との出会いから生まれる 展示・イベントの形

気さくな人柄と首には手ぬぐい、オーバーオール姿という立ちで、せんだい3.11メモリアル交流館の名物館長として親しまれている八巻さん。館長はじめスタッフはみな来館した人たちが周辺地域の住民たちとの対話を心がけ、コミュニケーションの中から震災の教訓や知恵を紡ぎ展示として形にしています。「来てよかった」「ありがとうございました」そうおっしゃって帰る人が多いんです。そういう点でほかにはないミュージアムの形がここにはあるのかなと思います」と八巻さん。



3か月に1度発行しているメモ館だよりの表紙に採用した、八巻さん作のスケッチ「仙台市農業園芸センター大温室」(1998)。これも被災して取り壊されてしまった風景の記憶と記録のひとつ

### 震災後、南蒲生浄化センターの闘いを記録した企画展

現在開催している企画展「それでも、下水は止められない。」も日々のコミュニケーションがきっかけとなって実現したもの。八巻さんは南蒲生浄化センターをくり返し訪問し、関係を深め、写真提供や作業員へのインタビューなど、浄化センターの全面的な協力を得ることができました。「下水につながるマンホールを見た時、その先に下水をキレイにする人がいて、さらにその先にある海をイメージできるようになったら、すごく豊かなことだと思うんですね」と八巻さん。震災でおきた事実だけを伝えるのではなく、事実と直面した人々の心の内やストーリーをひもとしてアプローチする、交流館ならではの展示の形にふれてみてください。



南蒲生浄化センターの東日本大震災発災から復旧までの歩みを多角的に見つめた企画展「それでも、下水は止められない。」は身につまされる思いとともに、人の営みの先にある海や自然を考えるきっかけに

ここのところ! せんだい3.11メモリアル交流館 仙台市若林区荒井字寄形85-4(地下鉄東西線荒井駅舎内) 022-390-9022 10:00～17:00 休 日 曜(祝日の場合はその翌日) 祝日の翌日(土・日曜、祝日を除く) 見 学 料 無料

これからのイベント 4月14日(日) 企画展「それでも、下水は止められない。」～東日本大震災・南蒲生浄化センターの知られざる闘い～

# てくてく 春のお散歩MAP

仙台駅東口・新寺～榴岡～宮城野

個性的な飲食店や歴史ある寺社仏閣など西口とは一風変わった雰囲気が楽しめる仙台駅東口エリア。2019年1月25日(金)に東北福祉大学仙台駅東口キャンパスへ移転オープンした「東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館」や「仙台市歴史民俗資料館」を基点に、街歩きを楽しんでみてください。

## 東北福祉大学芹沢銈介美術工芸館

国見キャンパスから移転し、2019年1月25日(金)に再オープン。3月25日(月)まではオープン記念展「人間国宝・芹沢銈介 文様万華-もんようばんか-」が開催されています。文字や人、植物、風景など、さまざまなモチーフを文様として捉え、力強く生き生きとした染色から商業デザインまでを手掛けた芹沢銈介の作品や型紙など150点あまりを展示。豊かな色彩感覚や表現を持った氏の創作のヒントが垣間見えるスケッチの展示も。キャンパス1階、2階フロアの一部を使った展示は旧館での展示とは異なり、ガラスケースや仕切りがほとんどないため、芹沢作品の文様を間近に見ることができます。また、本展では国見キャンパスの収蔵庫に保管されていた映像フィルム「型絵染」を本邦初公開。糊おきや染めなどの作業を行う様子や肉声をおさめた25分にもわたる貴重な映像は必見です!

☎ 仙台市宮城野区榴岡2-5-26 東北福祉大学仙台駅東口キャンパス内  
☎ 022-717-3318  
🕒 10:00～17:00(入館は～16:30) 休 火曜  
🎫 一般700円、大学・専門学校生400円、高校生以下無料



▲展示されている型紙(写真右下)は8割方、実際に染色した作品を見ることができます。洗紙を彫りぬいた型紙の文様に芹沢の真骨頂である色彩の妙がプラスされて美しく開花する様を感じてください



## 榴岡天満宮

学問や子どもの神様である菅原道真公を祀る“杜の都の天神様”として親しまれ、受験シーズンは合格祈願に訪れる参拝者が絶えません。境内には数多くの文人墨客の歌碑や句碑が立ち並んでおり、戊辰戦争時に結成された仙台藩の洋式銃隊「額兵隊」を率いた星梅太郎(じゅんたろう)、「見聞隊」を率いた二関源治にまつわる碑も。

☎ 仙台市宮城野区榴岡105-3  
☎ 022-256-3878



▲拝殿前には仙台で一番開花が早い梅、シラカシやシタレザクラなどの保存樹木に指定されている古木があります



▲丑年生まれ の道真公には牛にまつわる数多く伝承が残っています。牛をなでると頭が良くなる、病気が治るなどのご利益あり!

## 仙台市歴史民俗資料館

仙台平野は江戸時代から米づくりが行われてきた米どころ。現在資料館では日本人の主食である米に着目した特別展「コメどころ仙台～コメの生産と消費の歴史～」を開催中(4月14日(日)まで)。現在のように機械化される以前の米づくりの様子や道具、文献などから、昔の人の米づくりに対する想いを読みとることができます。宮城の民謡で“米という字を分析すればヨー、八十八度(はちじゅうやたび)の手がかかる”と語られるように、米農家の苦労は並々ならぬもの。時代とともに変化や改良を重ねてきた米の昔と今を肌で感じてみてください。

☎ 仙台市宮城野区五輪1-3-7 ☎ 022-295-3956 🕒 9:00～16:45(入館は～16:15)  
休 月曜(祝日の場合は翌日)、第4木曜 🎫 一般240円、高校生180円、小・中学生120円



▲田おこし用の鉢、田植えで使われた天秤棒や苗かごなど、近代化前に仙台平野で使用されていた農具を多数展示

◀コメ離れが進む食文化の変化についても紹介しています

## 「工藝発祥」の碑(商工省工藝指導所跡地)

「工藝発祥」と記された記念碑があるのは、1万平方メートルの広い敷地に2階建ての庁舎、そして3棟の工場を擁した「商工省工藝指導所」の跡地。指導所は1928年に日本初で全国唯一の国の工芸デザイン指導機関として開設。日本が世界に誇る工芸・民芸品に光をあて、輸出を視野に入れた新しいものづくりが行われていました。各地から名工が招聘され、世界的建築家であるブルーノ・タウトも一時期顧問として滞在。仙台を代表する伝統工芸品である玉虫塗も実は指導所で生まれた技法なのです。

☎ 仙台市宮城野区五輪1-4-22



▲所員たちがブルーノ・タウトを囲み、工藝指導所の庁舎正面で撮影したスナップ

▲宮城野中学校の敷地内にあり、フェンス越しで見ることが可能。当時指導所所員として在籍していた世界的なインテリアデザイナー・剣持勇がデザインを担当



## teato

昼、夜ともお腹大満足のご飯が味わえるお店。メイン、小鉢、ご飯、味噌汁、ドリンクがついた日替わりランチはどれも手づくり。味噌汁は「野菜をたっぷり食べて欲しい」という思いから具沢山で作るなど、素朴ながらもあたたかな料理が味わえると評判です。居心地が良く、女性一人でも入りやすい空間でほっと一息つきながらエネルギーチャージできます。



☎ 仙台市宮城野区榴岡1-7-8 ADビル2F ☎ 022-794-8957  
🕒 11:30～15:00、17:30～22:00(L.Oは各1時間前) 休 日曜

## 新寺こみち市

パンや菓子、野菜、海産物などの食品から、アクセサリや雑貨、洋服などハンドメイド物まで、毎回多彩な出店者が集う市。「こんなものが欲しかった!」と感じる作家に出会えるかも。出店予定などの開催情報はHP(<http://www.komichiichi.com/>)をチェックしてください。

☎ 新寺2丁目・蓮池公園～新寺小路緑道  
🕒 毎月28日の10:00～15:00(天候などにより異なる)



▲新寺界隈の歴史ある寺を横目に見ながら、新緑を楽しめる遊歩道はお散歩にぴったり

## 孝勝寺

代々伊達家の庇護を受けてきた古刹で日蓮宗の総本山。仙台藩4代藩主・伊達綱村が、生母・三沢初子が大切にしていた一寸八分の釈迦如来像を安置するために造営した釈迦堂が移築されており、見どころ多数。

☎ 仙台市宮城野区榴岡4-11-11 ☎ 022-256-5402 🕒 6:00～16:30(時間外は閉門)



## 林香院

奥州仙臺七福神のひとつ、弁財天が祀られている寺院。林光院の弁財天・八臂(はっぴ)辯才天は400年以上前から現在の場所で知恵や音楽、財の靈験あらたかな神様として信仰されてきました。八臂(はっぴ)辯才天は、秘仏のため、辯天堂内にあるのは御前立という身代りの像。平時は本堂内に安置され、毎年1月1日～3日、11月の例祭の時にだけ御開帳されます。

☎ 仙台市若林区新寺5-1-1 ☎ 022-256-1705



自家焙煎の珈琲が美味

● 焙煎珈琲 裏通り

三沢初子の墓

仙台藩4代藩主、伊達綱村の生母の墓所

● JR仙石線 榴岡駅

● 中華そば 一休

● クレープの店 PATTY

## 中華そば 一休

10種以上の魚介系ダシと鶏ガラでとった、あっさりとしながらも奥深いコクを感じるスープを使った中華そばが人気。王道もおいしいですが、期間限定の予定が予想以上に評価を得てレギュラーメニューへと昇格した「レモン中華」。輪切りのレモンのみがトッピングされた見た目のインパクトもさることながら、果肉をかじってからスープを飲むと、一層魚ダシのふくよかな香りが際立ちます。

☎ 仙台市宮城野区宮城野1-1-37 ☎ 022-297-2332  
🕒 11:00～15:00、17:30～21:00(土・日曜、祝日は11:00～21:00) 休 月曜(祝日の場合は翌日)



▲「レモン中華そば」650円

## クレープの店 PATTY

クリーム、アイスなどほとんどが手作りというこだわりのクレープ店。甘いスイーツ系から、しょっぱい食事系まで幅広いメニューが揃います。季節限定のクレープも人気で、春は桜の塩漬けをトッピングした「さくら」もメニューに登場。旬の味をクレープで楽しんでみては?

▲「シナモンアップル生」☎ 仙台市宮城野区宮城野1-29-1 ☎ 022-291-9012  
🕒 11:00～18:00(4月～は～19:00) 休 水曜



楽天生命パーク宮城

子ども連れでも楽しめるスポット。イベントが満載!



スマイルグリコパーク

観覧車やメリーゴーラウンドなどの乗り物があります。